

2014年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
1	5月13日(火)	白河市 郭内第二仮設住宅	仮設住宅入居者、 白河市内借上げ住宅 入居者 (双葉町民)	23人	支部職員 指導員 双葉町分区 双葉町生活支援課 白河市赤十字奉仕団 合計 2人 2人 5人 2人 5人 16人	白河市での開催は初めてでした。仮設住宅の入居者数が半数になっているため、借上げ住宅の方に参加を呼びかけました。
2	5月28日(水)	二本松市 安達運動場仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	22人	支部職員 指導員 浪江町分区 二本松社会福祉協議会 二本松市安達赤十字奉仕団 合計 2人 2人 4人 1人 5人 14人	240戸の入居がある大きな仮設住宅です。この仮設住宅では、毎日のように行事があるようです。参加者22人中男性は2人のみでしたが、フラワーアレンジメントは楽しくんでいただけました。
3	6月3日(火)	いわき市 平下高久仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	30人	支部職員 指導員 富岡町分区 いわき市内郷方部赤十字奉仕団 合計 1人 2人 4人 5人 12人	30人という多くの参加者が集まり、集会所は窮屈なほどでした。仮設住宅は、2012年11月から入居が開始された新しい仮設住宅で、ボランティアはあまり訪問してこないとのことでした。内郷奉仕団のみなさんに教えていただき、「炭坑節」を皆で踊って大変楽しんでもらえました。
4	6月24日(火)	三春町 貝山仮設住宅	仮設住宅入居者 (葛尾村民)	24人	支部職員 指導員 葛尾村分区 三春町分区 三春町赤十字奉仕団 合計 1人 2人 4人 1人 4人 12人	貝山仮設住宅では2012年度に救急法講習会を行っています。にこにこ健康教室の開催は初めてです。参加者の中には、避難中の葛尾村赤十字奉仕団の方もいて、赤十字奉仕団のバッジをつけて参加していました。お楽しみ会では、葛尾社協と三春町赤十字奉仕団がゲームを行って、盛りあがりました。
5	6月26日(木)	いわき市 檜葉町サポートセンター 「空の家」	高久第九 仮設住宅入居者 (檜葉町民)	27人	支部職員 指導員 いわき市平方部赤十字奉仕団 合計 1人 2人 5人 8人	集会所では狭いということなので、仮設住宅の近くにあるサポートセンターを会場としました。仮設住宅自治会の役員の方にも準備を手伝っていただきました。指導員の方は昨年に引き続き2回目で、「いきいき体操」も行ってもらいました。奉仕団には、転倒予防体操を行ってもらいました。
6	7月25日(金)	相馬市 北飯淵仮設住宅	仮設住宅入居者 (相馬市民)	22人	支部職員 指導員 相馬市社会福祉協議会 NGO難民を助ける会 相馬市赤十字奉仕団 合計 1人 3人 2人 1人 5人 12人	相馬市の津波の被災者が入居している仮設住宅です。200戸の仮設があるが、今は80世帯ほどしか住んでいないとのこと。借上げ住宅や家を持ち退居する方が多いとのことでした。日中仮設住宅内に居る方も少ないようでした。

2014年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
7	8月22日(金)	大玉村 安達太良仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	20人	支部職員 指導員 富岡町分区 大玉村赤十字奉仕団 合計	1人 入居者が少なくなり、400戸の仮設住宅のうち 2人 200戸位しか入居していないとのことです。空いた 3人 仮設住宅を取り壊し、復興住宅を建設してい 5人 ました。今後について話す人も多くいました。大 11人 変暑かったためか、途中で退席してしまった高 齢者の方が数名いました。
8	8月26日(火)	郡山市 緑ヶ丘東七丁目仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	20人	支部職員 指導員 南相馬市地区 富岡町分区 南相馬市原町赤十字奉仕団 郡山市赤十字奉仕団 合計	1人 商店街からは遠い場所にあり、買い物に不便な 2人 場所にある仮設住宅です。169世帯の戸数があ 1人 るが実際に住んでいるのは90世帯で、退居して 2人 いく入居者が多いそうです。 12人 5人 23人
9	9月11日(木)	三春町 柴原萩久保仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	14人	支部職員 指導員 富岡町分区 三春町分区 三春町赤十字奉仕団 合計	1人 集会所のない小規模の仮設住宅なので、談話 2人 室を使って何とか開催できました。奉仕団からの 2人 出し物で風船を使った対戦ゲームでは、体を動 1人 かしにぎやかに楽しく過ごしていました。 5人 11人
10	9月25日(木)	郡山市 富田町若宮前仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	22人	支部職員 指導員 富岡町分区 田村町赤十字奉仕団 合計	1人 おだがいさまセンターの近くですが、入居者の方 2人 は、ここの集会所を利用するとのことでした。こ 7人 の仮設住宅は市街地にあり、高齢者の方も多く 6人 て、退居する方は少ないとのこと。高齢者の方 16人 は、避難してから病気になったと言っている方 も多く、ここは病院が近くにあるので便利との ことでした。参加者の中に男性が7~8人おられ、 最後まで参加されていました。
11	10月3日(金)	南相馬市 小池第三仮設住宅	仮設住宅入居者 (南相馬市民)	18人	支部職員 指導員 南相馬市地区 南相馬市鹿島赤十字奉仕団 合計	1人 全部で約120戸あり、現在はほぼ満室とのこと 2人 です。津波の被害を受けた小高区の方が多く入居 2人 しています。奉仕団の方もこの仮設に入居され 6人 ている方がおり、いつもよりも多い6名の方に 11人 協力をいただきました。仮設住宅の自治会をあ えて作らずに、連絡員の方々が事実上その役割 を務めていて、今回の応募呼びかけに対して、参 加者の取りまとめでお世話になりました。

2014年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
12	10月7日(火)	郡山市 富田町若宮前仮設住宅 川内集会所	富田町若宮前、 富田町稲川原 仮設住宅入居者 (川内村民)	28人	支部職員 指導員 川内村分区 富久山町赤十字奉仕団 合計	1人 2人 4人 5人 12人 全部で214戸、414名の方が入居しています。川内村は避難指示も解除され、住民は帰還できるようになりましたが、病院やお店など生活に不可欠な機能がまだ充実していないので、戻らない方が多いようです。この仮設住宅には平成2016年度まで入居できるとのことです。芳賀赤十字病院から来ていただいた看護師長の方には、救急法などの指導をしていただきました。
13	11月19日(水)	伊達市 伏黒仮設住宅	仮設住宅入居者 (飯館村民)	28人	支部職員 指導員 飯館村職員 伊達市地区 伊達市伊達赤十字奉仕団 合計	1人 2人 3人 1人 5人 12人 震災後から毎年この仮設住宅では開催しています。今年で3回目の開催になります。こちらの仮設住宅は、人の出入りはほとんどなく96戸、148名が入居しています。伊達分区の課長さんにも参加いただきました。福島赤十字病院の看護師長には、役立つ技術や救急法などを指導していただきました。
14	11月28日(金)	いわき市 南台仮設住宅内 サポートセンターひだまり	仮設住宅入居者 (双葉町民)	28人	支部職員 指導員 双葉町分区 いわき市勿来方部赤十字奉仕団 合計	1人 2人 2人 5人 10人 現在160世帯、200名の方が入居者しています。市内に家を建てたり、アパートに移る方が多くなっていて、入居者は少なくなっているそうです。開催場所がサポートセンターということもあり、高齢者の参加が多くありました。
15	12月10日(水)	本宮市 高木仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	22人	支部職員 指導員 浪江町社会福祉協議会 本宮市社会福祉協議会 本宮市本宮赤十字奉仕団 合計	1人 2人 5人 1人 5人 14人 参加希望者が少なかったため、生活支援相談員の巡回にあわせて呼びかけを行いました。全戸で約80戸の内、現在の入居は約50戸とのことです。使用しなくなった住宅の跡地は畑として活用されていました。街の中心から離れているので、不便を感じます。また山の中腹にあるため、周囲は寂しく寒いという声がありました。復興住宅の抽選を待っているという方もおられました。
16	12月12日(金)	広野町 下浅見川地区集会所	広野町在住者、一時帰宅されている方、仮設住宅、借上げ住宅入居者 (広野町民)	21人	支部職員 指導員 広野町分区 広野町赤十字奉仕団 合計	1人 2人 1人 11人 15人 津波の被害があった地域での開催です。原発事故で今もお避難している方もおり、高齢者の参加が多くありました。広野町内に戻った方、仮設住宅や借上げ住宅で生活している方、一時帰宅された奉仕団の方々が集まりました。お楽しみ会では、門松作り、歌や体操で交流する事ができました。復興住宅の入居も始まっていました。

2014年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
17	1月15日(木)	福島市 北幹線第二仮設住宅	北幹線第二、 笹谷東部、 さくら仮設住宅入居者 借上げ住宅入居者 (双葉町民)	21人	支部職員 指導員 双葉町分区 福島市平野赤十字奉仕団 合計	1人 2人 5人 5人 13人 分区の方に、北幹線仮設住宅の入居者以外にも広く声を掛けてもらい、他の仮設住宅の方も多く参加していました。同会場での「にこにこ健康教室」の開催は3度目になりますが、初めて参加する方もいました。 参加者同士では、中間貯蔵施設のこと、土地問題や復興住宅のことなどを話されていて、これらが被災者の深刻な問題であることを改めて感じました。でも、参加中は皆さん笑顔でした。
18	2月5日(木)	二本松市 杉内多目的運動広場 仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	21人	支部職員 指導員 浪江町分区 二本松市地区 二本松市岩代赤十字奉仕団 合計	2人 2人 4人 11人 5人 24人 全戸数約230戸ある大きな仮設住宅ですが、現在の入居者は半分以下とのことです。敷地内には民間の運営によるデイサービスがあり、お年寄りの方はとても助かっているとのことでした。 借上げ住宅や新築の住宅に移る予定という方も何人かいました。体を動かすレクリエーションでは大いに盛り上がり、みなさん大笑いを楽しんでいました。
19	2月10日(火)	郡山市 喜久田町早稲原仮設住宅	仮設住宅入居者 借上げ住宅入居者 (双葉町民)	18人	支部職員 指導員 双葉町分区 日和田町分区 郡山市日和田赤十字奉仕団 合計	1人 2人 5人 1人 5人 14人 早稲原仮設住宅では初めての開催になりますが、たくさんの方に参加して頂きました。神奈川県支部から救護課長に来て頂いて、救急法やストレッチ、ホットタオルなどを指導して頂きました。住民は毎日血圧を手帳に記入しているようで、今回も測定後に記入している人が多くいました。日和田奉仕団委員長が歌で盛り上げてくれました。
20	2月14日(土)	福島市 松川工業団地第一仮設住宅	仮設住宅入居者 (飯舘村民)	40人	支部職員 本社職員 指導員 飯舘村社会福祉協議会 飯舘村赤十字奉仕団 全日空 合計	4人 3人 1人 4人 8人 23人 43人 日赤とANAがタイアップして、「こうくうフェアinふくしま」を開催しました。初めに体重や体脂肪の測定を行い、健康教室を実施、昼食にはCAさんから機内用カートで弁当とお茶が配布されました。飯舘村奉仕団員からトン汁のサービスがありました。昼食後はバレンタインデーに合わせケーキ作りを行い、楽しく過ごしました。
21	2月19日(木)	桑折町 桑折駅前仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	30人	支部職員 指導員 浪江町分区 桑折町分区 桑折町赤十字奉仕団 合計	1人 2人 2人 1人 5人 11人 浪江町社協と桑折町社協が2週間に一度お茶会などのサロンを開催しています。サロンでは看護師による血圧測定や健康相談を行っています。 今回はサロンの代わりとして行った「にこにこ健康教室」だったので、看護師も来ていました。お楽しみ会では、奉仕団の皆さんから一輪挿しの花も配られました。皆さん楽しそうでした。

2014年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
22	3月6日(金)	本宮市 石神第二仮設住宅	石神第一、第二 仮設住宅入居者 借上げ住宅入居者 (浪江町民)	27人	支部職員 指導員 浪江町分区 本宮市白沢赤十字奉仕団 合計	1人 隣接する仮設住宅や借上げ住宅を対象とした開 2人 催で、多くの参加者が集まりました。最近では、 7人 交流の場やイベントが少なくなり、町民同士の交 5人 流が減ってしまったということでした。近所にい 15人 も、久しぶりに顔を会わせたといって喜んでいる 方が多くいました。お年寄りの方にとっては、こ のような健康教室は最適な催しであると実感を 強めました。
23	3月16日(月)	会津若松市 一箕町長原仮設住宅	仮設住宅入居者 (大熊町民)	15人	支部職員 指導員 喜多方市地区 喜多方市赤十字奉仕団 合計	1人 現在の入居者は当初の半分で、約60世帯に 1人 減っているとのこと。「喜ばしいことだと思う 1人 けど、やっぱさみしいな」と参加の方が話してい 6人 ました。喜多方奉仕団は、震災後からほぼ毎月 9人 この仮設住宅でボランティア活動をしていて、住 民の方にとっても奉仕団にとっても、生活の一部 になっているとのことでした。